

2017年10月31日

各 位

塩野義製薬株式会社
株式会社UMN ファーマ

資本業務提携契約締結について

本日、塩野義製薬株式会社（本社：大阪府中央区、代表取締役社長：手代木 功、以下、「塩野義製薬」）と株式会社UMN ファーマ（本社：秋田県秋田市、代表取締役会長兼社長：平野 達義、以下「UMN ファーマ」）は、資本業務提携契約を締結いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

1. 資本業務提携の理由

塩野義製薬は、人々の健康を守るために必要な感染症治療薬を世界中の患者さまのもとにいち早くお届けすることを目指し、感染症領域を重点疾患領域のひとつと定め、強みである低分子創薬を技術基盤とした新薬の創出に取り組んでまいりました。今後、予防から治療までの感染症パイプラインをさらに充実していく中で、ワクチン、核酸技術等へ創薬基盤を拡大していくことを目指しております。UMN ファーマは、自己の有する感染症予防ワクチンに関する知見・ノウハウ・技術を用いて、感染症予防ワクチン領域を中心とした次世代バイオ医薬品の研究開発を推進しております。両社の提携により、共同で感染症予防ワクチンをはじめとする最先端のバイオ医薬品の開発・申請・上市を実現していくことで、世界の人々の健康に貢献できるものと考えております。

2. 資本業務提携の内容

(1) 業務提携の内容

今般の提携は、第1フェーズ及び第2フェーズの2段階で構成されており、本資本業務提携は第1フェーズに関するものであります。第1フェーズでは、UMN ファーマの研究及び生産拠点を活用し、ヒト用感染症予防ワクチンをはじめとする創薬に関する基盤技術整備を共同で行います。また、並行して両社で合意した感染症予防ワクチン領域を対象とする開発候補品の基礎的研究を行います。

基盤技術整備に一定の成果が得られたと両社が判断した時点より、第2フェーズとして、並行して進めていた基礎的研究成果に基づき開発候補品の選択を行い、上記技術等を用いて、研究・開発・申請・上市を推進してまいります。

(2) 資本提携の内容

今般、業務提携に係る研究開発投資資金等に充当することを目的として、UMN ファーマは、塩野義製薬に普通株式 600,000 株及び株式会社 UMN ファーマ第 1 回無担保転換社債型新株予約権付社債（新株予約権部分の目的である普通株式 4,900,000 株）を割り当て、塩野義製薬はその全てを引き受けます。上記資金拠出は合計で約 16 億円となる見込みです。当該資本提携により、中長期的且つ戦略的な関係を構築し、両社で感染症予防ワクチンの研究開発並びに事業を推進してまいります。

UMN ファーマにおける本資本業務提携に関するニュースリリースは、「資本業務提携並びに第三者割当による新株式及び第 1 回無担保転換社債型新株予約権付社債の発行に関するお知らせ」をご参照ください。

本件に関するお問い合わせ先

塩野義製薬株式会社
株式会社 UMN ファーマ

広報部 TEL : 06-6209-7885 FAX : 06-6229-9596
横浜本社 管理部 TEL : 045-595-9840